

2015年4月30日

第4回モロッコでの第三国研修

本プロジェクトにおいては、2012年以降、モロッコへの第三国研修が過去3回実施されてきました。本プロジェクト期間において最後の機会となる4回目の研修は3月28日から4月5日の9日間実施され、帰国直後の4月7日に帰国報告会が開催されました。

スーダンにおける水分野（水資源開発、飲料水供給サービス及び人材育成）には様々な課題があります。これらの課題には政治的あるいは紛争等の内容が含まれているために、短期間での改善は困難です。しかしながら、関係者をスーダン国外の研修に参加させ、意識改革を図ることは今後のスーダンにとっては極めて有効な手段です。

本研修の目的は殆ど外国訪問の経験がなく、スーダン国内のみに満足している各州水公社の職員を対象にモロッコを訪問することにより、スーダンの水分野における問題点を対外的な観点から比較検討し、自助努力の実施促進をさせることでした。

この研修に参加したスーダン人関係者は、自国が様々な分野で遅れていることを認識し、各所属先で積極的な改善活動を実施しています。

今回の研修では、技術研修として実施されたモロッコにおける統合的水資源管理、浄水場維持管理、水質管理研修のほかに、プロジェクト終了以降もモロッコとスーダンの技術協力関係を継続するための協議がモロッコ関係機関との間で実施されました。この協議のため、スーダン側からは州水公社の技術系の職員に加えて、スーダン飲料水衛生局研修センター（DWST）のエティダル所長が参加し、受入機関である ONEE、モロッコ国際協力機構（AMCI）、イスラム開発銀行、スーダン大使館等と活発な協議が行われました。

<モロッコスタディツアー>



水質管理研修



ONEE 研修施設見学



Sidi Mohamed ben Abdella ダム視察



イスラム開銀との協議



スーダン大使表敬訪問



ONEE, IEA 所長との協議



モロッコ国際協力機構との協議



帰国報告会 (4/7)